



どうし ていねい 動詞の丁寧形「～ます」

P39 動詞の基本構造 を
参照しながら進めてください。

この課では「食べます」「歌います」「行きます」のように、**聞き手に敬意をもって、丁寧な表現にする動詞の形(丁寧形)**を学びます。

ポイント



1. 動詞の丁寧形「～ます」は、動詞の語基B型に、丁寧形の接辞 **-yabu¹** を付ける。

2. 丁寧接辞の後に時制接辞、語尾接辞が続く。

1. 丁寧形

丁寧接辞 **-yabu** は、語基B型に接続し、その後に時制(非過去／過去)を表す接辞と語尾接辞が接続して動詞が完成します。



丁寧接辞の後に来るとき、非過去接辞は形を持たないので、過去接辞 **-a** は形として現れます。
「呼ぶ」という動詞を例に、見てみましょう。

(1) 非過去の丁寧形

「呼びます」は、「呼ぶ」の語根 **abi²** に、丁寧接辞 **-yabu** と直説接辞 **-N** が接続して **abi-yabu-N** 「呼びます」となります。



1 - は接辞のマークです。

2 語根だけの形を、ななめ文字で表します。語根だけでは単語は成り立ちません。



かこ ていねい (2) 過去の丁寧形

よ よ ごこん ていねいせつじ かこせつじ ちよくせつせつじ せつぞく
「呼びました」は、「呼ぶ」の語根 **abi** に、丁寧接辞 **-yabu**、過去接辞 **-a**、直説接辞 **-N** が接続して
あびやぶたん よ
abi-yabut-a-N 「呼びました」 となります。



かこせつじ さき がた せつぞく せつじ さこん
過去接辞 **-a** は語基C型に接続する接辞なので、**-a** がつく語根が **abi** ではなく **abit** という形に変わる
どうし かこ
点に注意してください(3-15「動詞の過去形」を参照)。

さき がた
語基B型には方言差があることが分かっているので、以下では西部方言の代表として上平川方言、東
くんじやいむに
部方言の代表として国頭方言を例に具体的な形を見てみましょう。

1-1 上平川方言

ひょーむに さき
上平川方言の語基の変化の仕方は、表1の通りです。例えば「待つ」という動詞の基本語根は **mat** で
どうし きほんごこん
す。「待ちます」と言いたいとき、「待つ」**mat**の語基B型(**mat**のまま)に、丁寧接辞 **-yabu**と直説接辞 **-N**
までやぶん
を付けて、**mat-yabu-N 「待ちます」**と言います。

表1. 語基の末尾音の変化(上平川方言)

さき まつび 語基の末尾	① ほいん 母音 終わり	② s終わり	③ k終わり	④ t終わり	⑤ g終わり	⑥ n終わり	⑦ m終わり	⑧ b終わり
例	abi よ 「呼ぶ」	nas 「産む」	hak 「書く」	mat 「待つ」	uig 「泳ぐ」	sin 「死ぬ」	kam 「食べる」	asjib 「遊ぶ」
さき きほん 語基A(基本形)	ほいん 母音	s	k	t	g	ny	m	b
さき 語基B	ほいん 母音	s	k	t	g	n	m	b
さき 語基C	ほいん 母音 t	ch	ch	ch	j	j	d	d



1-2 国頭方言

くんじゅいむに こうとう きほんごこん
國頭方言の語基B型は、表2の通りです。例えば「待つ」という動詞の基本語根は **mat** です。「待ちます」
と言いたいとき、「待つ」 **mat** の語基B型 **mac** に、丁寧接辞 **-yabu** と直説接辞-N を付けて、**mac-yabu-N**
「待ちます」と言います。

表2. 語基の末尾音の変化(国頭方言)

語基の末尾	母音 終わり	s 終わり	k 終わり	t 終わり	g 終わり	n 終わり	m 終わり	b 終わり
例	abi よ 「呼ぶ」	nas 「産む」	hak 「書く」	mat 「待つ」	uig 「泳ぐ」	sin 「死ぬ」	kam 「食べる」	asjib 「遊ぶ」
語基A (基本形)	ぼいん 母音	s	k	t	g	n	m	b
語基B	ぼいん 母音	s	c	c	z	n	m	b
語基C	ぼいん 母音 t	ch	ch	ch	j	j	d	d

2. 語基に -i がつく丁寧形

くんじゅいむに こうとう おこ
國頭方言では、語基が母音終わりの時などに、丁寧接辞の前に **-i** が入ることがあります。例えば、「怒ります」という動詞は、「怒る」の語根 **ama** に、**-i** がついてから、丁寧接辞 **-yabu** と直説接辞-N がついで、**ama-i-yabu-N** 「怒ります」となります。他にも、「書きます」は「書く」の語根(語基B型) **hac** に **-i** がついてから、丁寧接辞 **-yabu** と直説接辞-N がついて、**hac-i-yabu-N** 「書きます」と言います。
どんな時に **-i** が入るのかは、まだ完全には分かっていません。



発音してみよう！

丁寧形は、話し相手や聞き手に敬意を表す上でとても大切な表現です。いろいろな動詞の丁寧形を、発音してみましょう。2段ある場合、上の段が上平川方言（西部方言）、下の段が國頭方言（東部方言）を表しています。

あびやぶん abi -yabu -N 呼ぶ - 丁寧 - 直説 「呼びます」	なしやぶん nas -yabu -N 産む - 丁寧 - 直説 「産みます」	しにやぶん sin -yabu -N 死ぬ - 丁寧 - 直説 「死にます」	はきやぶん hak -yabu -N 書く - 丁寧 - 直説 「書きます」
まてやぶん mat -yabu -N まちやぶん mac -yabu -N 待つ - 丁寧 - 直説 「待ちます」	ういぎやぶん uig -yabu -N ういじやぶん uiz -yabu -N 泳ぐ - 丁寧 - 直説 「泳ぎます」	かみやぶん kam -yabu -N 食べる - 丁寧 - 直説 「食べます」	あしびやぶん asib -yabu -N 遊ぶ - 丁寧 - 直説 「遊びます」

練習問題

次の動詞の丁寧形を予想して書いてみましょう。

(1) **nibu** 「眠る」 → () 「寝ります」

(2) **furus** 「殺す」 → () 「殺します」

(3) **ak** 「歩く」 → () 「歩きます」

(4) **tat** 「立つ」 → () 「立ちます」

(5) **fug³** 「(船を)こぐ」 → () 「(船を)こぎます」

(6) **num** 「飲む」 → () 「飲みます」

(7) **tub** 「飛ぶ」 → () 「飛びます」

³ fuig, fuugという地域もあるようです。

